

文部科学省「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」中核拠点校開発プログラム
職業実践力育成プログラム（BP）文部科学大臣認定講座
特定一般教育訓練給付制度 厚生労働大臣指定講座
土木学会認定CPDプログラム
全国土木施工管理技士会連合会 CPDS学習プログラム

実務家教員育成研修プログラム

インフラメンテナンス分野のリカレント教育と人材育成を担う「実務家教員」の育成

受講者募集要項



地方 防災・
創生 危機管理



2023 年度版

独立行政法人国立高等専門学校機構
舞鶴工業高等専門学校
社会基盤メンテナンス教育センター

1. 目的

“Society5.0”－社会が複雑化・高度化し、情報・知識を利活用しながら生きることが当たり前前の社会への到来を前に、社会資本としてのインフラは本格的なメンテナンス時代を迎えています。建設業界には、この社会変革とメンテナンスニーズ増大に対応できる人材を育成し、良質な社会資本としてのインフラを未来に継承することが求められています。

「KOSEN 型産学共同インフラメンテナンス人材育成システムの構築」(KOSEN-REIM)では、“地元のインフラは地元で守る”をモットーに、地方の建設技術者の技術レベル向上を目指し、高専におけるインフラメンテナンス分野のリカレント教育を担う『実務家教員』を育成します。この『実務家教員育成研修プログラム』では、熟練の建設技術者が“教える”ために必要な能力の修得をめざす実践的カリキュラムで、個々の技術者が培った実務経験や技術力を、次世代に継承可能なコンテンツとして形づくり、伝えていく方法を学ぶことができます。また、全課程を修了者し、建設（社会基盤の整備及び維持管理）を専門領域とする実務家教員として適格と認定された方は、『専門教士（建設部門）』の称号を付与され、高専が実施するリカレント教育プログラムの講師として、現職とのパラレルキャリアの形成が可能となります。また、所属企業・団体等での研修講師、建設業界における人材育成・技術継承の担い手として、活躍の場を広げることができます。本プログラムが、人生100年時代を生きる皆様の成長と活躍のきっかけとなることを願っています。



【育成する人材像（ディプロマ・ポリシー）】

- ◇ 自らが実務家として培った実務経験や技術力を言語化し、教育の場（授業、研修・講習、講演等）で、自信と誇りをもって伝達することができる人材。
- ◇ インフラメンテナンス分野のリカレント教育への熱量を持ち、実務家教員としてのパラレルキャリアを形成していくことができる人材。
- ◇ 建設業界における人材育成・技術継承の担い手として、広く活躍できる人材。
- ◇ 実務家教員としての自分のミッションを発見し、行動を起こすことができる人材。

2. 対象

学校教育法第90条に規定する大学に入学することができる者で、

- ・インフラメンテナンス分野のリカレント教育を担う実務家教員を目指す者
- ・建設技術者として培った実務経験や技術力を体系化し、次世代に継承したいと考える者を対象とします。また、受講要件として、次の①及び②を満たす必要があります。

①技術士、または、国土交通省登録資格等の技術資格を有すること

②建設分野で10年以上の実務経験を有すること

3. 開催概要

開催期間：2023年6月16日～2024年2月3日（初回講習会は2023年7月9日）

開催日数：月1～2日（全6回、計9日間）

開催曜日：土曜日又は日曜日（2日連続の場合は連続する土日開催とします）

開催時間：9:00～17:00（開始時間と終了時間は前後することがあります）

4. 講習会会場

大阪市内、及び、舞鶴工業高等専門学校社会基盤メンテナンス教育センター（iMeC）

5. 定員

10名

6. 申し込み・選考方法

- ・応募書類（別紙 **実務家教員育成研修プログラム受講申込書**）に必要事項を記入の上、提出先 URL (https://kosenjp-my.sharepoint.com/:f:/g/personal/t_taya_maizuru_kosen-ac_jp/EkuJ8Ea6WxdJlQP8MQ1Wi2gBWW-ICB17EDpMP5BKCPGCbw) にファイル（Word 又は PDF）をアップロードしてください。応募書類は、ホームページ (<https://www.maizuru-ct.ac.jp/imcc/jp-reim.html>) からダウンロードしてください。
- ・**応募書類提出期限は、第1次募集2023年5月15日、第2次募集2023年5月31日**です。
- ・**応募書類に基づく書類選考を実施します。選考結果は5月下旬に、メールで通知**します。

7. カリキュラム・スケジュール（詳細は別添のシラバスを参照してください）

実務家教員育成研修プログラムを構成する7講座		e-learning	講習会		
		受講開始	日数	開催日程	開催場所
1	実務家教員の教養講座	6月16日	1	7月9日	オンライン
2	実務経験と専門性の棚卸講座	6月16日			
3	実践講義力養成講座	7月7日	1	7月29日	大阪市内
4	リカレント教育体験講座	8月25日	2	9月16・17日	舞鶴高専
5	教育能力養成講座	9月29日	2	10月21・22日	大阪市内
6	実証講座教育実習	12月22日	2	1月13・14日	舞鶴高専
7	プログラム修了評価	—	1	2月3日	オンライン

※上記の他、11月中旬～下旬に実証講座教育実習に向けた中間発表（オンライン2時間）を予定しています。

8. 受講料

275,000円（税込）※

※受講者本人が受講料を負担する場合、受講者本人が特定一般教育訓練給付金を申請することで、受講料の40%、限度額20万円の支給を受けることが可能です。

事業主・事業主団体等が受講料を全額負担する場合、事業主・事業主団体等が人材開発支援助成金（人材育成支援コース）を申請することで、受講料及び教科書代の45%、限度額15万円（中小企業以外は30%、限度額10万円）の経費助成を受けることが可能です。

上記を利用する際は、受講開始1ヵ月前迄に所定の手続きを完了する必要があります。詳しくは、別添（「特定一般教育訓練給付制度」及び「人材開発支援助成金」のご案内）でご確認ください。

9. その他

- ・本プログラムは、舞鶴工業高等専門学校の履修証明プログラムであり、全課程修了者には履修証明書が発行されます。
- ・本プログラムの全課程を修了し、実務家教員育成研修プログラム評価委員会（委員長：愛媛大学 中井俊樹教授）において建設（社会基盤の整備及び維持管理）を専門領域とする実務家教員として適格と認定された方へ、『専門教士（建設部門）』の称号を付与します。
- ・本プログラムは、土木学会認定CPDプログラム（78.9単位）、及び、全国土木施工管理技士会連合会CPDS学習プログラム（44ユニット）です。
- ・本プログラムは、「職業実践力育成プログラム（BP）」文部科学大臣認定課程です。
- ・本プログラムは、「特定一般教育訓練給付制度」厚生労働大臣指定講座です。
- ・本プログラムでは、事前学修eラーニングの受講、オンライン授業、課題・レポート等の作成・提出、及び、欠席時のフォローとしての講義映像視聴等において、パソコンとインターネット通信を使用します。必ず、パソコンと必要なインターネット通信環境をご用意の上、ご受講ください。
- ・本プログラムの受講開始までに、指定の教科書（①『実務家教員の理論と実践』実務家教員COEプロジェクト編、先端教育機構社会情報大学院大学出版部、2021年、定価（税込）2,750円、②『大学教員のための授業方法とデザイン』佐藤浩章編、玉川大学出版部、2010年、定価（税込）2,530円）をご自身にてご用意ください。
- ・本プログラムへの参加に係る旅費等はご自身にてご負担ください。

以上

個人情報の取扱いについて

舞鶴工業高等専門学校社会基盤メンテナンス教育センター（iMec）が、本プログラムの応募書類を通じて取得する個人情報は、①受講者の選考、②選考結果通知、③受講に係る手続き及び諸連絡、④iMecからのお知らせ、⑤これらに付随する業務を行うために、事務局、及び、各講座の講師が利用します。



独立行政法人国立高等専門学校機構 舞鶴工業高等専門学校
社会基盤メンテナンス教育センター内
実務家教員育成研修プログラム事務局（JP-REIM 事務局）

〒625-8511 京都府舞鶴市字白屋 234 番地

電話： 0773-62-5600（代表）、0773-62-8877（直通）

ファクシミリ： 0773-62-5558（代表）

メール： jp-reim@maizuru-ct.ac.jp

iMec ホームページ： <https://www.maizuru-ct.ac.jp/imec/>

KOSEN-REIM ホームページ： <https://www.maizuru-ct.ac.jp/kosen-reim/>